

第3回 向日市民温水プールあり方検討会議 次第

日時：令和5年12月21日（木）

午後3時～

場所：向日市役所本館第7会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 前回の会議内容について

(2) 学校プールについて

(3) 市民温水プールの活用（水泳授業）について

(4) 意見交換

(5) その他

3 閉 会

# 向日市民温水プール あり方検討会議

第 3 回（令和 5 年 12 月 21 日）

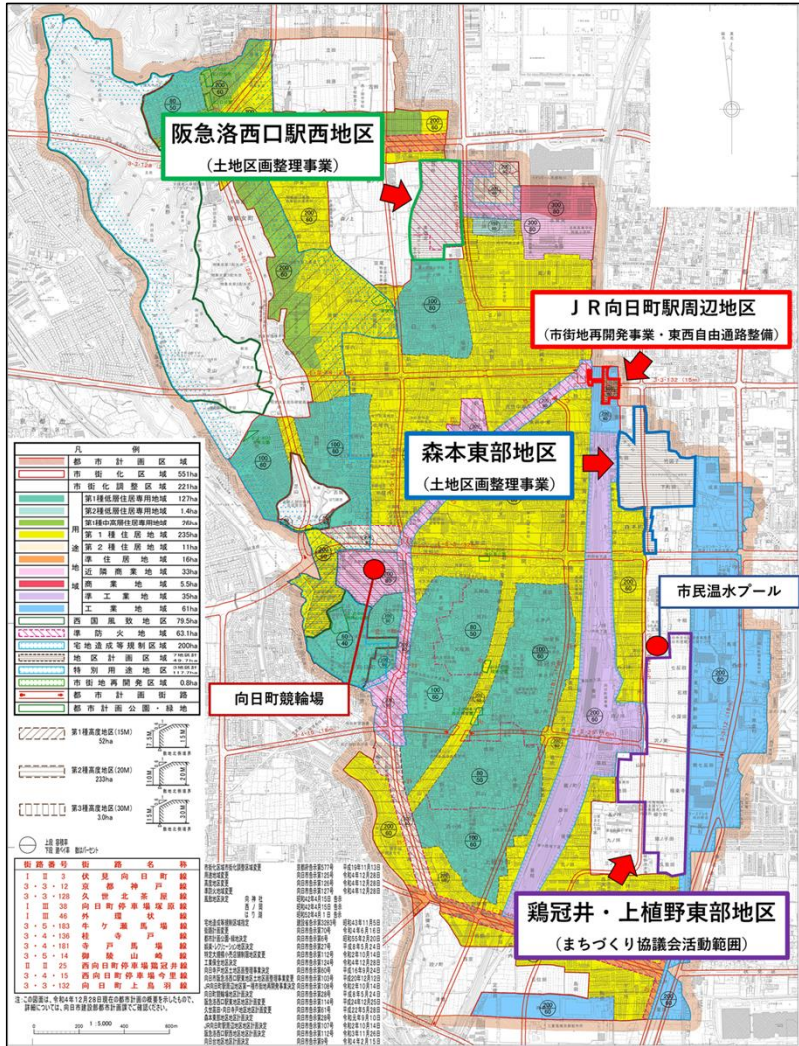
# 1 前回の会議内容について

# 第2回あり方検討会議・内容

## ■主なご意見

- ・ 小・中学校のプールも改修費が掛かるので、集約化は良いと思う。
- ・ 老朽化した小中学校のプールを集約するのであれば、再整備に賛成。
- ・ 教育委員会の考えや学校プールの現状を伺いたい。
- ・ 周辺のまちづくりの状況にもよるが、再整備は時期尚早ではないか。
- ・ 既存施設の1/4でプールを再整備し、残り3/4を複合施設にしてはどうか。
- ・ 向日市のスポーツ関連の要望等がどんなものがあるか知りたい。

# 周辺まちづくりの状況について



## ■土地区画整理事業

事業名称	事業期間
向日市森本東部地区 土地区画整理事業	令和元年11月～令和7年3月 (2018年11月～2025年3月)
向日市阪急洛西口駅西地区 土地区画整理事業	令和4年6月～令和9年3月 (2022年6月～2027年3月)

## ■JR向日町駅東口開設推進事業

事業名称	事業期間
自由通路整備事業	令和4年2月～令和10年3月 (2022年2月～2028年3月)
市街地再開発事業	令和4年2月～令和12年3月 (2022年2月～2030年3月)

## ■鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会

協議会名称	協議会認定
鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会	令和4年8月 (2022年8月)

## ■京都府

審議会等名	担任する事項
向日町競輪事業外部有識者会議	向日町競輪の今後の事業運営について、幅広い視点から意見を聴取する
京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会	京都府におけるスポーツ施設のあり方に関すること

# 向日町競輪場について

## ■向日町競輪場基本構想（中間案）

### 向日町競輪場 基本構想 （中間案）

（令和5年9月）

京 都 府

#### 京都府

「向日町競輪事業の今後のあり方に関する基本的な考え方」を踏まえ、競輪事業の継続に必要な施設の再整備や余剰スペースの整備を実施することを目的として「向日町競輪場基本構想」を策定することとしている。



令和5年9月（2023年9月）

向日町競輪場基本構想（中間案）を公表

#### 中間案：余剰スペースの活用

- ・「交流・賑わいゾーン」として整備を実施
- ・競輪施設との相乗効果、賑わいの創出、府内のスポーツ施設の状況などを踏まえ、屋内スポーツ施設としての活用を検討。

※参照：京都府ホームページ

# 向日市スポーツ推進計画

## 向日市スポーツ推進計画

### ■基本方針

市民が健康で豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

### ■計画期間

令和3年3月（2021年）～令和12年3月（2030年）

### ■施策の柱

- ・生涯スポーツの推進
- ・競技スポーツの充実
- ・スポーツ拠点の整備

向日市スポーツ推進計画

令和 3年 3月  
向日市教育委員会

# 向日市スポーツ推進計画

## ■アンケート：向日市民のスポーツに対する意識調査

期 間：2020年2月7日～2月27日

対 象：18歳以上の市民1,000人（無作為抽出）

回収率：44.9%（回答者数：449人）

### 【問】不足していると思う公共スポーツ施設

（回答者数 449人 ※複数回答可）

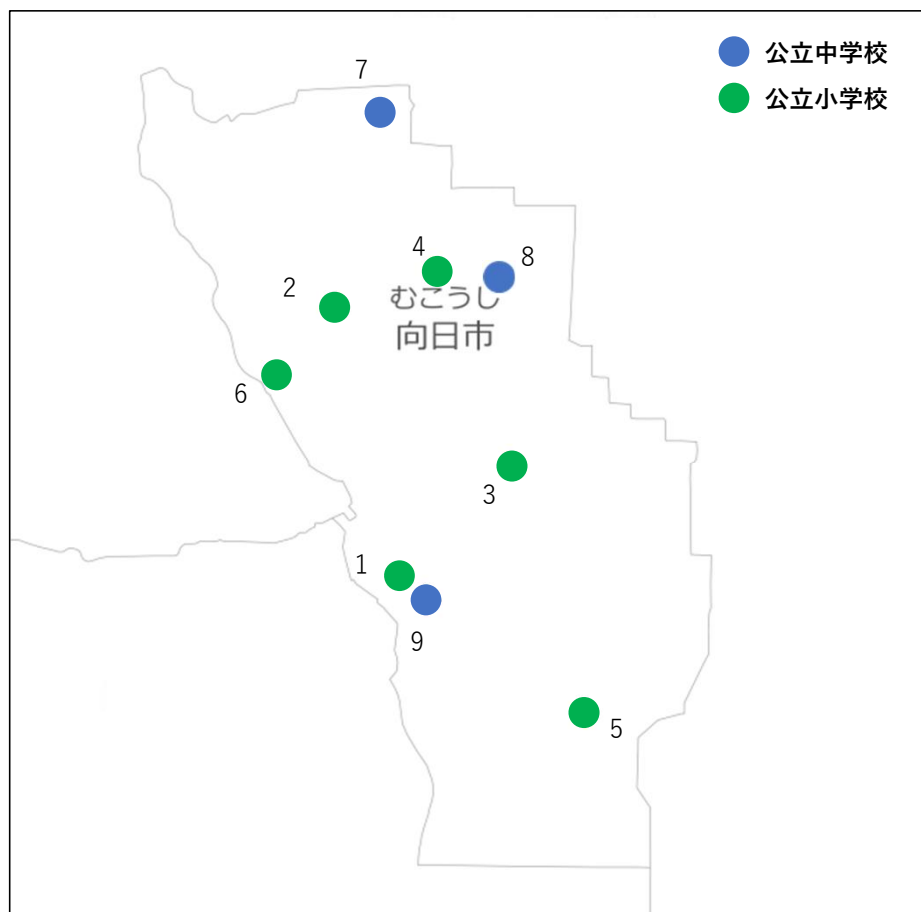
1位	ジョギング・ウォーキングができる道路・公園	145件（32.3%）
2位	総合的な運動公園	108件（24.1%）
3位	わからない	83件（18.5%）
4位	特になし	74件（16.5%）



## 2 学校プールについて

# 小・中学校（公立）の学校プールの状況

## ■学校プール施設（公立 小・中学校）



	学校名	建設年度	大プール	小プール
1	向陽小学校	1975年(昭和50年)	25m×10コース	有
2	第2向陽小学校	1969年(昭和44年)	20m×6コース	有
3	第3向陽小学校	1972年(昭和47年)	20m×6コース	有
4	第4向陽小学校	1973年(昭和48年)	20m×6コース	有
5	第5向陽小学校	1975年(昭和50年)	20m×6コース	有
6	第6向陽小学校	1980年(昭和55年)	25m×6コース	有
7	西ノ岡中学校	1994年(平成6年)	25m×8コース	無
8	寺戸中学校	1995年(平成7年)	25m×8コース	無
9	勝山中学校	プール施設・無		

# 小・中学校（公立）の水泳授業

## ■授業実施状況

区分	期間	授業時間 (1コマ)	授業1回 のコマ数	授業実績	実施体制	
小学校	6月中旬～7月中旬	45分	2コマ	平均10コマ	2～3クラス/回	担任+監視 各1名
中学校	6月中旬～7月中旬	50分	1コマ	平均10コマ	2クラス/回 男女別講座	教科担当2名

※特別支援学級は、学級数や児童生徒の実態に応じて体制をとって実施  
 ※勝山中学校は、水泳以外から一種目多く指導

## ■学習指導要領で示された水泳領域の指導内容（※水泳授業が必須ではない）

学年		指導内容
小学校	低学年（1・2学年）	水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く運動遊び
	中学年（3・4学年）	浮いて進む運動、もぐる・浮く運動
	高学年（5・6学年）	クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動
学年	指導内容	
中学校	泳法を身につけ効率的に泳ぐ（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ）	

# 水泳場の確保が困難な場合

## ■学習指導要領では

水泳場の確保が困難な場合、水泳の指導内容を扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については必ず取り上げることとされている。

勝山中学校在該当 (設置場所確保が困難)	水泳の事故防止に関する心得を指導するとともに、他の中学校よりも水泳以外から一種目多く指導
-------------------------	--

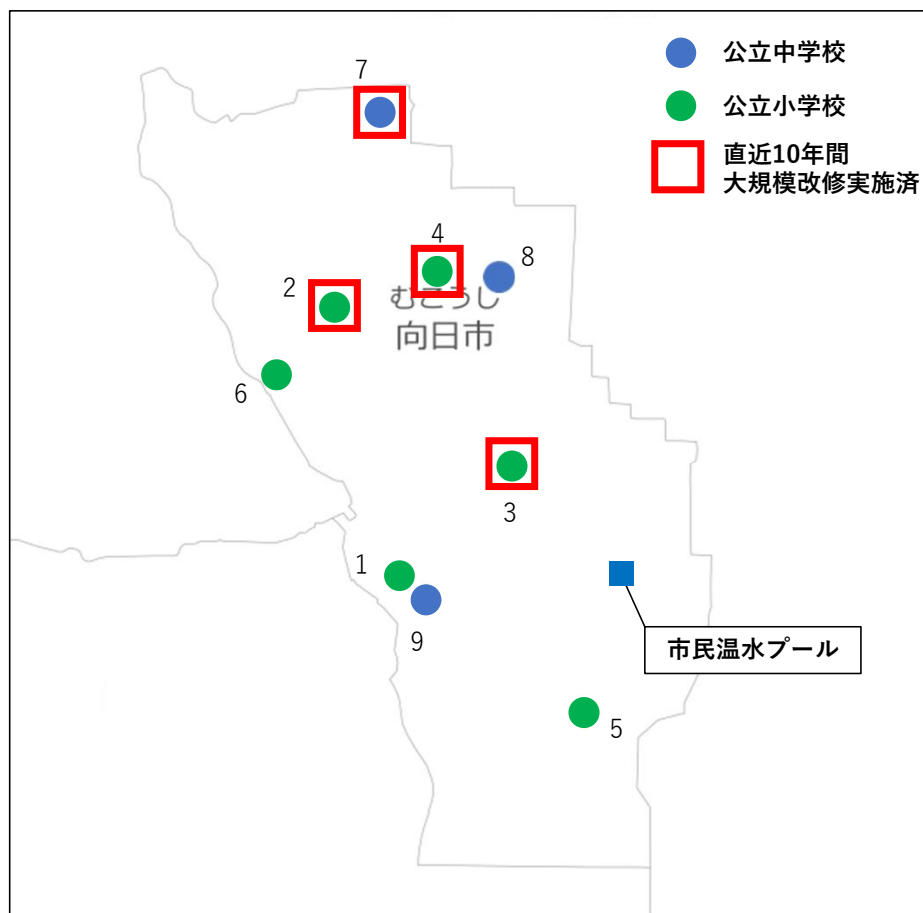
## ■学校プール設置率（公立 小・中学校：全国・京都府）

	小学校（公立）	中学校（公立）
全国	87.8%	67.3%
京都府	96.1%	51.9%

※「令和3年度 学校体育施設設置状況等調査の結果」から抜粋

# 学校プール大規模改修・実施状況（直近10年）

## ■学校プール施設（公立 小・中学校）



	学校名	建設年度	経過 年数	直近10年間 大規模改修 実施年度
1	向陽小学校	1975年(昭和50年)	48年	無
2	第2向陽小学校	1969年(昭和44年)	54年	2017年(平成29年) ~2018年(平成30年)
3	第3向陽小学校	1972年(昭和47年)	51年	2015年(平成27年)
4	第4向陽小学校	1973年(昭和48年)	50年	2016年(平成28年)
5	第5向陽小学校	1975年(昭和50年)	48年	無
6	第6向陽小学校	1980年(昭和55年)	43年	無
7	西ノ岡中学校	1994年(平成6年)	29年	2021年(令和3年)
8	寺戸中学校	1995年(平成7年)	28年	無
9	勝山中学校	プール施設・無		

※上記の大規模改修は、工事費1,000万円以上の工事

# 学校プールの老朽化（参考・第6向陽小学校）

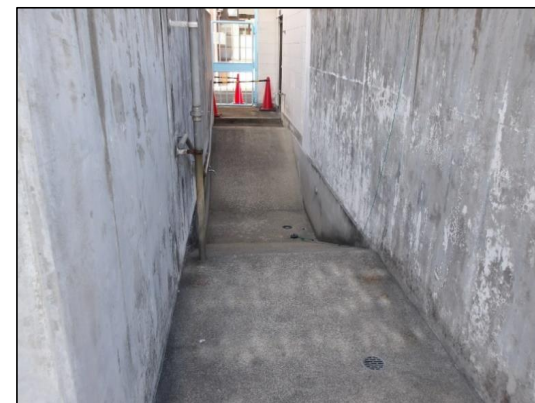
■第6向陽小学校（建設年度：1980年・経過年数43年・直近10年間の大規模改修なし）



プール全景



プールサイド



洗体槽



ろ過装置



ポンプ

# 学校プールの老朽化

## ■設置からの経過年数

経過年数	校数	内訳
30年未満	2	西ノ岡中学校・寺戸中学校
30年～50年未満	3	向陽小学校・第5向陽小学校・第6向陽小学校
50年以上	3	第2向陽小学校・第3向陽小学校・第4向陽小学校

※ マーカー部分は、直近10年間での大規模改修実施済み

## ■学校プールの更新について

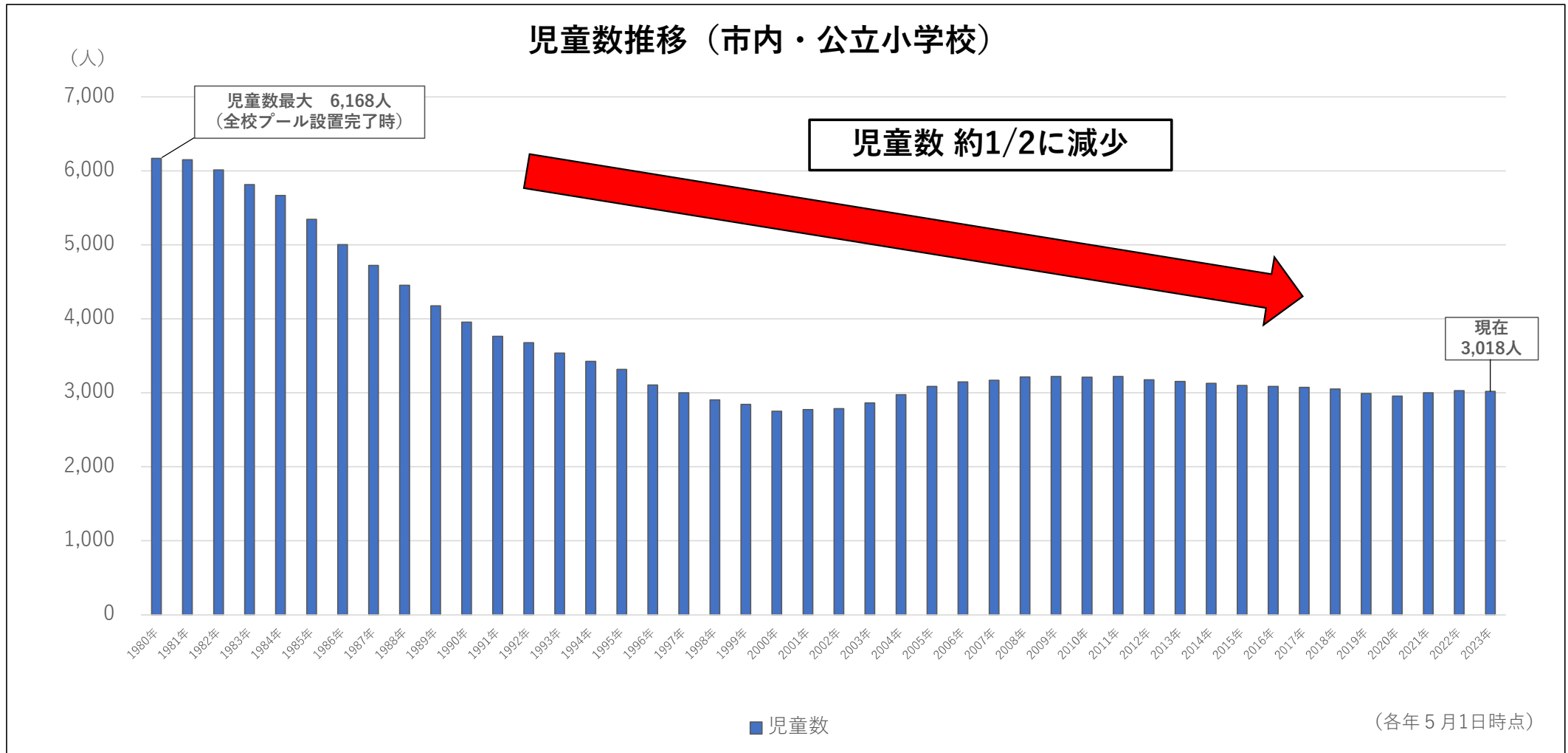
財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」による水泳プールの耐用年数は30年。

実際には、耐用年数経過後も利用可能であるため、改修工事や修繕を実施し、現在に至る。



経過年数を考慮すると、小学校を優先して対応を検討

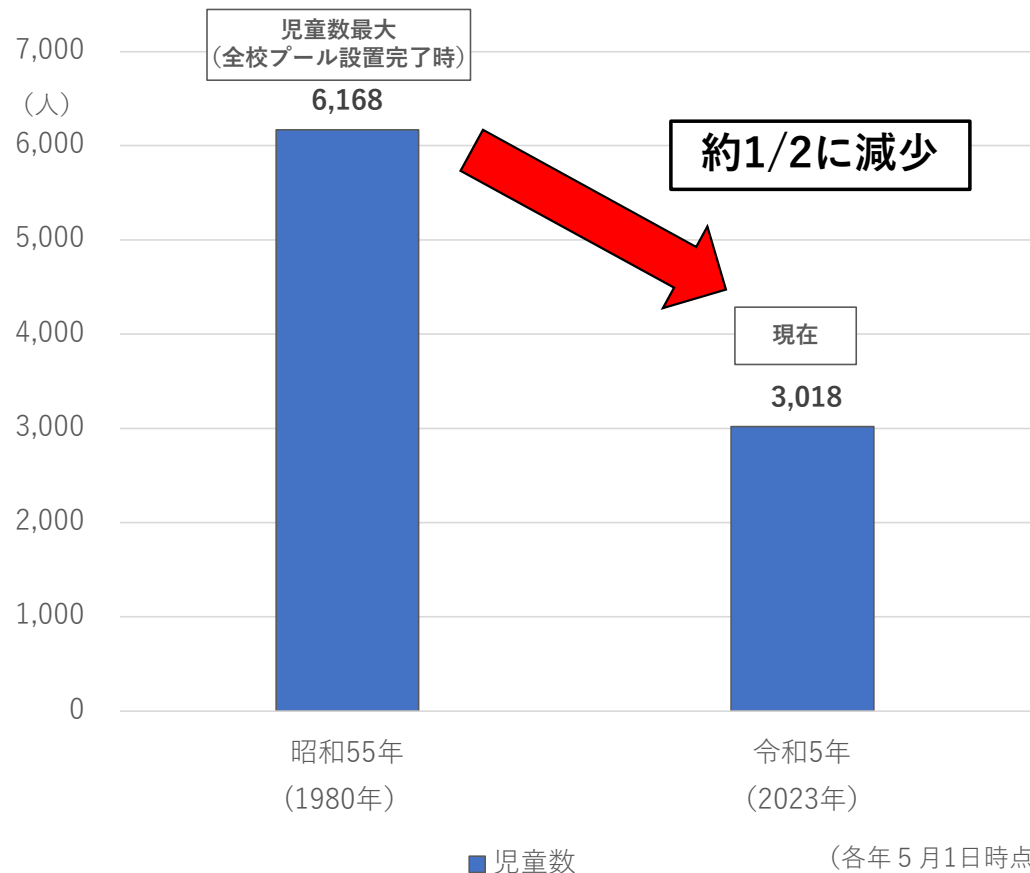
# 児童数の推移（市内・公立小学校）





# 児童数の推移（市内・公立小学校）

児童数推移（市内・公立小学校）



## ■各公立小学校の児童数推移

(単位：人)

	向陽小	2向小	3向小	4向小	5向小	6向小
1980年	1,162	789	1,065	1,211	1,229	712



2023年	606	551	313	760	485	303
1980年 比較	52.2%	69.8%	29.4%	62.8%	39.5%	42.6%

第3向陽小学校は、  
1980年と比較すると、1/3以下まで減少

市内児童数全体としても  
1980年と比較すると、1/2以下まで減少

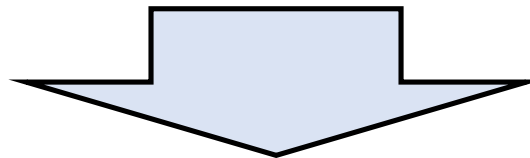


今後も児童数の減少が見込まれる

# 学校プールの課題

## ■学校プールの課題

- ・ プール施設の老朽化
- ・ 改修工事など、今後の維持管理費が高額
- ・ 学校現場の安全面、管理面でのリスクが高い



水泳授業を民間委託することも検討している

# 水泳授業の民間委託

## ■水泳授業の民間委託とは

学校の水泳授業を、民間事業者に委託すること。  
学校プールを使用せず、民間事業者の屋内施設を利用する。

### 期待できる効果

- ・ 学校プールの維持管理コスト削減
- ・ 授業の実施が天候に左右されない
- ・ 水温や水質、衛生面の環境も安定
- ・ 熱中症対策（炎天下での授業回避）
- ・ 安全面、管理面での教員負担軽減

近隣の民間事業者の状況によっては  
受入先が不足する可能性がある

### 導入する場合の課題

- ・ 移動時間発生に伴う授業時間の確保
- ・ 移動手段及び移動時の安全確保
- ・ 施設使用料等及び移動用バス費用
- ・ **民間事業者の受入状況（受入限度）**

**受入先確保が必要**

### **3 市民温水プールの活用（水泳授業）について**

# 市民温水プールの活用について

## ■各会議での検討状況について

### ■教育委員会

- ・ 学校プールが老朽化し、改修費が高額となる
- ・ 水泳授業を民間施設で実施することを検討
- ・ 受入先の限度があり、受入先の確保が必要
- ・ 市民温水プールの利用も選択肢の一つ

### ■向日市民温水プールあり方検討会議（前回まで）

- ・ 学校プールの機能を集約化するのものの考え
- ・ 子どもたちと高齢者が使える施設にしてほしい
- ・ 学校プールの集約化するのであれば、再整備に賛成
- ・ 年間を通して、利用できることは魅力的

共通した認識

市民温水プールを活用した水泳授業の実施

# 比較内容（水泳授業での市民温水プール活用有無）

## ■比較する内容

市民温水プールを再整備することを前提に、今後30年間で掛かる概算費用について、以下の3つを比較します。

A 水泳授業を「学校プール」で実施する場合の費用

※市民温水プール活用なし（これまでの実施方法）

B 水泳授業を「市民温水プールのみ」で実施する場合の費用

※市民温水プール活用あり

C 水泳授業を「市民温水プールと民間施設」を併用して実施する場合の費用

※市民温水プール活用あり

# 小学校の水泳授業・実施場所別のイメージ

## A 学校プール

学校



※学校プールを使用

### ②学校プール改修・更新関連費用

- ・維持管理費用（光熱水費等）
- ・改修工事費用
- ・更新・解体（全面リニューアル）費用

市民温水プール  
水泳授業受入なし

①建設費・修繕費

## B 市民温水プール

学校



※学校プールは  
使用しない



③施設間の移動費用

市民温水プール  
水泳授業受入数・小学校 6校

①建設費・修繕費

## C 市民温水プール 民間施設・併用

学校



※学校プールは  
使用しない



③施設間の移動費用

市民温水プール  
水泳授業受入数  
小学校 2校

①建設費・修繕費

近隣民間施設（数箇所）  
水泳授業受入数  
小学校 4校

④施設使用料等

比較が行い易いように授業は、全て教員が実施と想定

# 概算費用の比較（水泳授業・場所別）

## ■概算費用の比較（今後30年間）

この表は、水泳授業の場所によって掛かる費用の違いをお示したものです。この試算は、概算費用であり、必ずしも以下の費用で実施できるというものではありません。

	概算費用	水泳授業・実施場所		
		A 学校プール	B 市民温水プール	C 市民温水プール・民間施設 併用
①新市民温水プール建設費用 ※1 (修繕費含む) ※2	約 7億8千万円	●	●	●
②学校プール改修・更新関連費用 (全6校)	約19億5千万円	●		
③移動費用 ※3	約 8億1千万円		●	●
④民間施設使用料等 (4校分) ※4	約 1億2千万円			●
合計		約 27億3千万円	約 15億9千万円	約 17億1千万円

※1 現時点で試算が困難なため、前回会議の鹿嶋市の施設の建設費と同額で仮設定しています

※2 現時点で試算が困難なため、修繕費は年間100万円で仮設定しています

※3 「移動手段の変更」や「授業内容の調整等による授業日数の変更」によって金額は変動します

※4 監視員配置に掛かる費用も含まれています

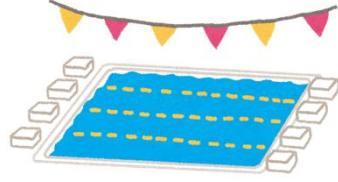


# A 試算内容（学校プール）

# 別紙3

## ■イメージ図（学校プール）

学校



※学校プールを使用

## ②学校プール改修・更新関連費用

- ・維持管理費用（光熱水費等）
- ・改修工事費用
- ・更新・解体（全面リニューアル）費用

市民温水プール

※水泳授業受入なし

①建設費・修繕費

## ①建設費用・修繕費用（今後30年間）

市民温水プール建設 ※仮設定額	市民温水プール修繕費 (年間100万円×30年間)	合計
約 7億5,000万円	約 3,000万円	約 7億8,000万円

※別紙4参照

## ②学校プール改修・更新関連費用（今後30年間）

維持管理費 (光熱水費等)	改修工事費用 更新・解体費用	合計
約 2億7,000万円	約 16億8,000万円	約 19億5,000万円

※別紙5参照

試算合計（①+②）

**約 27億3,000万円**

# 建設費・修繕費（参考事例及び注意点）

## 別紙 4

### ■建設費の参考事例（前回会議での紹介事例）

- ①自治体名：茨城県 鹿嶋市
- ②施設名称：いきいきゆめプール
- ③竣 工：2019年3月（平成31年3月）
- ④延床面積：約1,279㎡（地上平屋建・鉄筋コンクリート造）
- ⑤主な設備：屋内温水プール（25m×7コース）  
採暖室、ジャグジー、トレーニング室、談話室
- ⑥建設費：約7億4,844万円



出典：鹿嶋市提供

### ■概算費用（建設費・修繕費）の注意点

- ・現時点で施設規模等が未定で試算が困難なため、上記事例を参考に仮設定してお示する金額です。
- ・コロナ禍以前（約5年前）の竣工事例であり、同規模施設の建設には増額が必要と見込まれます。
- ・参考数値であり、必ずしもこの費用で建設や修繕ができるというものではなく、全体の金額のイメージを抱いてもらうため、作成したものです。

【本来の建設費及び修繕費のイメージ】

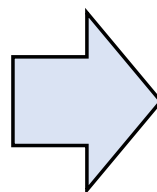
約7億8,000万円+ $\alpha$ （施設規模変更や資材高騰等による増減）

# 学校プール改修・更新関連費用

# 別紙 5

## ■主な更新費用（小学校）

項目	更新期間	概算費用 (1校あたり)
プール更新費用	30年に1回	約2億円
旧プール解体費用	30年に1回	約3,000万円
ろ過機装置更新	20年に1回	約1,000万円
プール槽改修	10年に1回	約1,000万円
プールサイド改修	10年に1回	約1,000万円

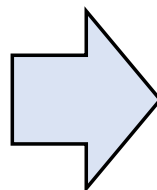


## ■今後30年間の必要費用（小学校6校）

項目	更新回数 見込み	概算費用 (1校あたり)	概算費用 (6校)
プール更新費用	1回	約2億円	約12億円
旧プール解体費用	1回	約3,000万円	約1億8,000万円
ろ過機装置更新	1回	約1,000万円	約6,000万円
プール槽改修	2回	約2,000万円	約1億2,000万円
プールサイド改修	2回	約2,000万円	約1億2,000万円
合計		約2億8,000万円	<b>約16億8,000万円</b>

## ■主な維持管理費（小学校）

項目	概算費用・年間 (1校あたり)	概算費用・年間 (6校)
光熱水費等	約50万円	約300万円
主な更新費用 以外の修繕費	約100万円	約600万円
合計	約150万円	約900万円



項目	概算費用・30年間 (6校)
主な維持管理費	<b>約2億7,000万円</b>

合計（学校プール改修・更新関連費用・今後30年間）

**約 19億5,000万円**

# B 試算内容（市民温水プール）

# 別紙 6

## ■イメージ図（市民温水プール・民間施設を併用）

学 校



※学校プールは使用しない



③施設間の移動費用

市民温水プール  
水泳授業受入数  
小学校 6校

①建設費・修繕費

※授業は、教員が指導することを想定

### ①建設費用・修繕費用（今後30年間）

市民温水プール建設費 ※仮設定額		市民温水プール修繕費 (年間100万円×30年間)		合計
約 7億5,000万円	+	約 3,000万円	=	約 7億8,000万円

### ③施設間の移動費用（バス使用想定：今後30年間）

施設間のバス移動費用 (小学校 6校)		試算期間		合計
約 2,700万円	×	30年	=	約 8億1,000万円

試算合計（①+③）

**約 15億9,000万円**

全校受入には  
**授業内容等の変更が必要**

# C 試算内容（温水プール・民間施設併用）別紙7

## ■イメージ図（市民温水プール・民間施設を併用）

学 校



※学校プールは使用しない



③施設間の移動費用

市民温水プール  
水泳授業受入数  
小学校 2校

①建設費及び修繕費

近隣民間施設（数箇所）  
水泳授業受入数  
小学校 4校

④施設使用料等

※授業は、教員が指導することを想定

## ①建設費用・修繕費用（今後30年間）

市民温水プール建設費 ※仮設定額		市民温水プール修繕費 (年間100万円×30年間)		合計
約 7億5,000万円	+	約 3,000万円	=	約 7億8,000万円

## ③施設間の移動費用（バス使用想定：今後30年間）

施設間のバス移動費用 (小学校 6校)		試算期間		合計
約 2,700万円	×	30年	=	約 8億1,000万円

## ④施設使用料等（今後30年間）

民間施設使用料等 (年間:小学校 4校)		試算期間		合計
約 400万円	×	30年	=	約 1億2,000万円

試算合計（①+③+④）

**約 17億1,000万円**